

2026 年 7 月 28 日 熊本県熊本地方の地震

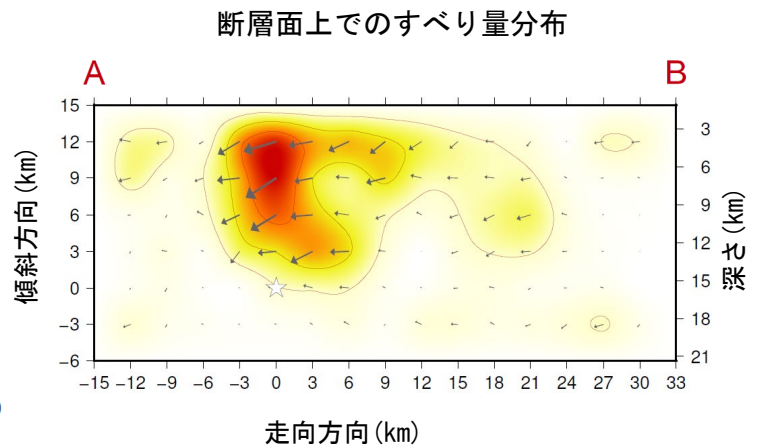
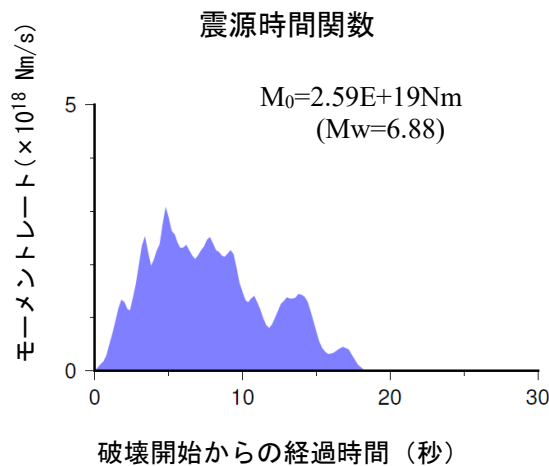
一 近地強震波形による震源過程解析（暫定）一

2026 年 7 月 28 日 16 時 27 分（日本時間）に熊本県熊本地方で発生した地震（ $M_{JMA}7.1$ ）について、国立研究開発法人防災科学技術研究所の強震観測網（K-NET、KiK-net）の近地強震波形を用いた震源過程解析を行った。

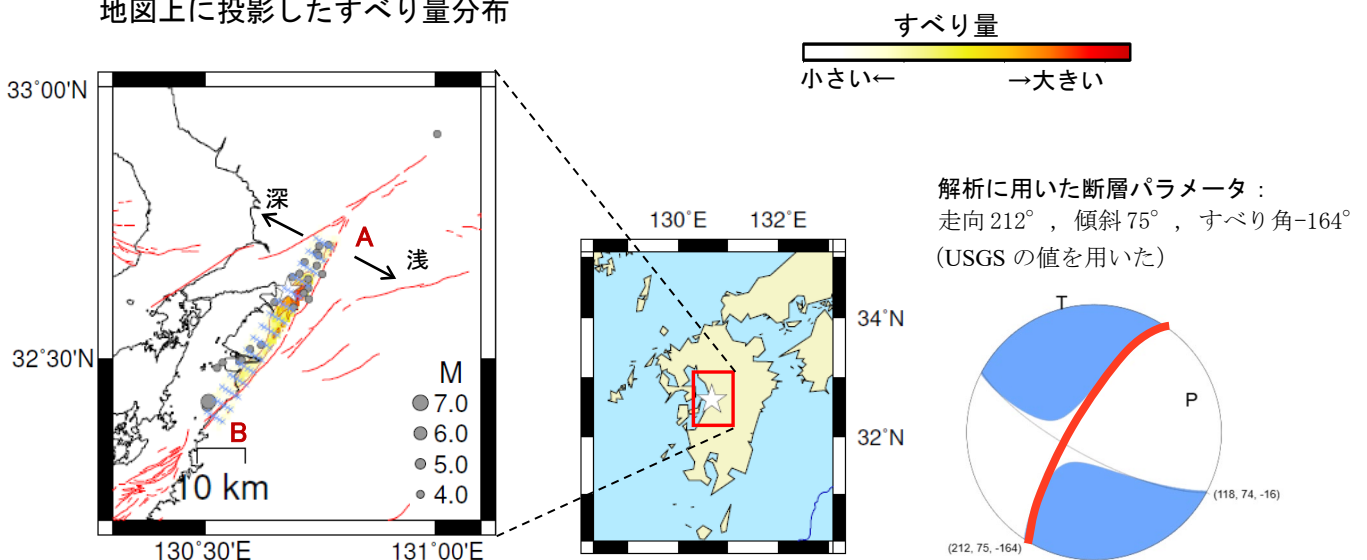
破壊開始点は、気象庁による震源の位置（ $32^{\circ} 37.5' N$ 、 $130^{\circ} 40.7' E$ 、深さ 16km）とした。断層面は、USGS の W-phase 解の 2 枚の節面のうち、北東-南西方向の節面（走向 212° 、傾斜 75° 、すべり角 -164° ）を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 2.0km/s とした。理論波形の計算には、Koketsu et al. (2012) の結果から設定した地下構造モデルを用いた。主な結果は以下のとおり（この結果は暫定であり、今後更新することがある）。

- ・ 主なすべり域の大きさは走向方向に約 30km、傾斜方向に約 15km であった。
- ・ 主なすべりは破壊開始点から浅い領域に広がり、最大すべり量は 3.6m であった（周辺の構造から剛性率を 31GPa として計算）。
- ・ 主な破壊継続時間は約 20 秒であった。
- ・ モーメントマグニチュードは 6.9 であった。

結果の見方は、https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/sourceprocess/about_srcproc.html を参照。



地図上に投影したすべり量分布



星印は破壊開始点を示す。灰色の丸は 7 月 28 日 16 時 27 分の $M7.1$ の地震発生から 24 時間以内に発生した地震の震源 ($M4.0$ 以上) を示す。赤色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

作成日：2026/08/28

気象庁作成